

平成20年度決算報告

決算の概要

1 平成20年度城堀区会決算
1 収入合計 8,561,077円

①繰越金	2,057,840	前年度繰越金
②区費	5,418,800	
③補助金	980,597	町からの補助
④その他	103,840	祭壇使用料他

2 支出合計 6,747,959円

①防災費	452,190	防災備品、訓練
②衛生美化費	530,590	防犯灯、美化活動
③行事費	623,866	区民の集い、やっさ、 町民レクリエーション
④消防費	250,000	夜警費
⑤諸会費	610,100	日赤、共同募金、 消防協会
⑥助成金	240,000	子供会、他6団体
⑦交際費	223,000	隣組組長退職記念品他
⑧役員手当	578,300	隣組組長手当、 役員手当、旅費
⑨補助金	2,000,000	水道組合人件費負担
⑩光熱通信費	617,610	電気、電話料金、 振替手数料
⑪事務用品費	182,873	文具、コピー代他
⑫積立金	350,000	区会基金、祭壇基金
⑬その他	89,430	新聞代、総会経費

3 次年度繰越金 1,813,118円

収入のうち、区費は頭打ちとなっており、これ以上の増収が見込めない状況です。

支出は、これ以上削れない為、新たな事業は出来ない状況です。

⑨の補助金は、水道組合へ実質的には人件費の負担であり、専属の職員を雇うより効率的だと考えております。

①防災費、②衛生美化費、③行事費、④消防費
⑤諸会費、⑥助成金など、すべてが、区民の負担です。城堀の住人でいて、区会(隣組)に加入していない世帯の方は、当然区会に加入して頂く必要があります是非ご理解賜りますようお願い致します。

3 平成20年度城堀氏子会決算

1 収入合計 1,651,245円

①繰越金	369,231	前年度繰越金
②寄付金	965,000	祭典祝儀他
③その他	317,014	さい銭他

2 支出合計 1,401,360円

①祭典費	881,431	例大祭経費他
②負担金	279,700	伊勢神宮奉賛金、 神社協議会負担金他
③保険料	78,600	建物共済保険
④修繕費	104,609	神社施設補修費
⑤その他	57,020	電気、下水道料金他

3 次年度繰越金 249,885円

収入の大半が祭典祝儀であり、やりくりしてやっと維持しているのが現状です。

奉賛会組織の設立が課題になっております。

9月の例大祭の他、元旦祭、7月1日の浅間神社例大祭、及び11月23日の秋祭りを催行しております。皆さまも是非お参り下さい。

平素は城堀区会、城堀簡易水道組合、ならびに城堀氏子会にご理解、ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

付きましては、昨今の区費、水道料費等収入の減少で、各会運営が非常に困難になって来ております。このような状況を各区民の皆さまにご報告して、ご理解いただけるよう、ここに掲載致しました。

これからも区民の皆さまのご理解、ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い致します。

横井彦之

2 平成20年度城堀簡易水道組合決算

1 収入合計 34,297,007円

①繰越金	8,088,282	前年度繰越金
②水道料	22,876,898	
③補助金	2,000,000	区会より人件費負担
④加入金	766,500	新規加入者3件
⑤その他	565,327	下水道検針委託他

2 支出合計 32,118,928円

①工事費	6,809,788	送配水管布設替、町営水道 緊急管接続工事他
②修繕費	2,058,597	量水器オーバーホール、 送配水管、配水池設備修理
③備品費	1,115,699	軽トラック購入他
④役員手当	1,360,000	役員報酬他
⑤人件費	14,056,294	職員3名の給与、厚生費等
⑥光熱費	2,271,303	施設電気料
⑦租税公課	1,154,200	消費税他
⑧諸会費	903,270	水質検査手数料他
⑨積立金	400,000	危機対応の積み立て
⑩事務用品費	352,652	事務用品、消耗品
⑪薬品費等	547,553	薬品費、燃料費
⑫通信費	483,166	自動振替手数料他
⑬備品用品費	203,733	給水用ポリ他
⑭その他	402,673	旅費、被服費等

3 次年度繰越金 2,178,079円

危機対応基金積立金 25,127,571円

収入のうち、水道料収入は、使用量が減少しており、下降傾向が続いており、この為加入金(危機対応基金)を取り崩して経営している現状です

前年度の繰越金が多かったので、表面上は黒字ですが、実質は600万円程度の赤字です。

老朽化している送配水管から順次改良していく必要がありますが、今のような経営が続くと数年後には基金が無くなる事が必須であり、料金引き上げも検討に入りにしております。

又、抜本的な改革を考えれば、町との統合も視野に入れる必要があると思います。

その理由は、①大地震等の災害に対応できない事、②施設に改良すべき点が多い事、③職員の負担が大きく、万が一欠けた時に代わりがない事、など大きな課題を抱えているためであります。

生活に欠かせない飲料水の事ですので、皆さまとよく相談して、恒久的な対応を模索して行きたいと思っております。